

7. 2005年度日本数学会賞春季賞， 出版賞の授賞について

【春季賞】

選考委員会での審査の結果に基づき，東京大学大学院数理科学研究科の辻雄氏が

p 進ホッジ理論の研究

に関する業績により賞に選ばれました．3月28日年会会場で授賞式並びに同氏による p 進 Hodge 理論 の記念総合講演が行われました．

【出版賞】

数学通信 9 巻 3 号で日本数学会出版賞の推薦を求めましたが，13 名の方から推薦がございました．これら推薦された対象について出版賞選考委員会で検討を行い，その結果を理事会で確認の上，次の 5 組の方に出版賞を差し上げることに致しました．

楠葉隆徳氏，林隆夫氏，矢野道雄氏

授賞理由：これまであまり詳しく知られていなかった内容を，初心者にも配慮しつつ高度の専門書「インド数学研究」で紹介し，数学の研究・教育・普及に大きく貢献されました．

岡部恒治氏，戸瀬信之氏，西村和雄氏

授賞理由：学力低下に関して著書「分数ができない大学生」により極めて効果的に問題提起し，数学教育を巡る議論の発展に大きく貢献されました．

志賀浩二氏

授賞理由：数多くの数学啓発書の執筆および編集により数学の研究・教育・普及に大きく貢献されました．

亀井哲治郎氏

授賞理由：編集者として，数学の面白さを伝えることにより数学の裾野を広げ，また数学の最前線を一般に判り易く紹介し，数学の研究・教育・普及に大きく貢献されました．

小川洋子氏

授賞理由：著書「博士の愛した数式」により数学の魅力を判り易く紹介し，数学の普及に大きく貢献されました．

なお，今回は第 1 回の出版賞であったため，推薦された一部の対象については，次年度に選考を持ち越すことになりましたことを付記します．

(前理事長 森田康夫記)